

第44回全日本アンサンブルコンテスト四国支部大会実施における

新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

令和3年1月17日策定

令和3年1月25日改定

四国吹奏楽連盟

第44回全日本アンサンブルコンテスト四国支部大会を実施するにあたり、高知県吹奏楽連盟が策定した「事業実施における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」（令和2年9月1日策定、10月1日改定）に基づき、新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインを作成する。

なお、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」（令和2年5月25日変更）および「高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安」（令和3年1月22日変更）に基づき、開催の可否を決定する。

1. 連盟としての感染防止

- (1) 施設管理者と自治体の発している収容率等の方針（令和2年12月1日現在100%）のもと、感染防止対策や緊急時の対応等について事前に確認・調整・共有する。
- (2) スタッフ（照明・ビデオ・写真業者、楽器店等含む 以下略）の人数は必要最小限に留め、緊急連絡先の記された名簿（様式2）を作成する。
- (3) スタッフおよび審査員はアンサンブルコンテスト2週間前から2週間後まで検温を実施し体調管理の記録（様式1）をとる。また、新型コロナウイルスに感染しやすい状況での活動を可能な限り控える。
- (4) 当日、スタッフと審査員は体調確認のための参加申請書（別紙2）と記録（様式1）を提出する。平熱と比べて高い発熱がある場合、及び体調不良の症状（咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、下痢、嘔気・嘔吐等の症状がある場合）があった場合自宅待機とし、PCR検査の受診を促し連盟の指示を受ける。

なお、当日提出した体調管理記録（様式1）は返却されないため、アンサンブルコンテスト終了後、新たに様式1に記録をとり、各自で保管（1ヶ月間）する。（必要に応じて提出をお願いする。）

また、取得した個人情報漏洩することがないように1ヶ月間事務局において適切に管理・保存の上、破棄する。

- (5) 次の箇所に消毒液を置く。
 - ・会場入り口、受付、トイレ出入り口、本部前、審査員控え室、ステージ上手、ステージ下手、搬入口、グリーンホール出入り口
- (6) スタッフおよび審査員は会場入りしたらまず手指消毒又は手洗いをを行う。
- (7) スタッフおよび審査員は全員マスクを着用しこまめに手指消毒又は手洗いをを行う。
- (8) 入り口受付で非接触型体温計で検温を実施する。
- (9) 受付を行うスタッフには、代表者と十分な間隔（概ね1m以上）を取るとともに、マス

クを着用させ、必要に応じてフェイスシールドや手袋も使用させる。

- (10) 楽器の準備後片付け、グリーンホール（ウォーミングアップ会場）、ステージ上では管楽器の結露は床に直接落とさず布、紙などに吸収させ出演者自らが処理する。
- (11) すべての出演者は十分な間隔（2 m程度）を保持する。
- (12) ステージスタッフは不特定多数が触れるものをセッティングあるいは移動する前後には必ず手指消毒又は手洗いをを行う。取り扱ったあと手指消毒又は手洗いをを行うまでは顔（目・鼻・口）に触らない。
- (13) 椅子や譜面台（持つ部分等）・不特定多数の人が触れる場所（扉や手すり等）を定期的に消毒する。なお、会場入り口の扉は可能な限り開放しておく。
- (14) 集計室への出入りは、支部理事長、各県第二事業部長、事務局長のみ、四国吹奏楽連盟役員控室へは役員のみ、大会本部へは高知県吹奏楽連盟役員（理事長、副理事長、第2事業部長、事務局長、事務局次長、財務局長と実行委員）のみとする
- (15) スタッフが昼食をとるときには密にならないよう時間や場所を指定する。
- (16) 閉会式は実施せず、審査結果はホームページ上で行い、審査用紙・表彰状等は郵送する。
- (17) 体調を崩したスタッフ、出演者等を案内する為、換気の良い救護室を確保しておく。使用した際は適切な消毒、手当を施す。平熱と比べて高い発熱、咳、味覚・嗅覚障害等の症状がある場合に、直ちに医療機関を受診できるよう、新型コロナウイルス健康相談センターに連絡し指示を受ける。
- (18) スタッフに新型コロナウイルス接触確認アプリ（略称：COCOA）（自治体独自の通知アプリ、QRコードを活用したシステムを含む）の利用を促す。

2. 出演者および補助員、顧問（指導者）、引率教員の感染防止（以下を周知する）

基本的な考え方

- ① 普段の活動から感染防止対策をした上で活動を行う。

<行動原則>

- ア. **体調がいつもと違う時は、休む**（発熱・咳などがあったら、隠さず休む）
- イ. **手洗い**：共有物（みんなが触るもの）を触ったら、石鹸で手を洗うこと
- ウ. **顔を触らない**：手を洗うまでの間は、顔（目・鼻・口）に触らないようにする
- エ. **マスク**：話をする時はマスクを着用すること、着用できなければ人との距離をとる
- オ. **換気**：部屋の換気を適切に行う

- ② アンサンブルコンテスト出場について十分な感染防止対策をとり、体調不良者は出場させない。
- ③ アンサンブルコンテスト会場において十分な感染防止対策をとる。

- (1) 出演者および補助員・顧問（指導者）・引率教員は、アンサンブルコンテスト2週間前から2週間後まで検温を実施し体調管理の記録（様式1）をとる。

- (2) 当日、出演者は体調確認のための出演申請書（別紙1）と記録（様式1）を団体受付に提出する。また、補助員・顧問（指導者）・引率教員は出演申請書（別紙2）と記録（様式1）を団体受付に提出する。発熱、咳、喉の痛み・嗅覚や味覚の異常等の症状がある者は出演・参加できない。
- なお、当日提出した体調管理記録（様式1）は返却されない。アンサンブルコンテスト終了後、新たに様式1に記録をとり、各団体・各自で保管（1ヶ月間）する。（必要に応じて提出）
- また、取得した個人情報漏洩することがないように1ヶ月間事務局において適切に管理・保存の上、破棄する。
- (3) 移動時については「旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き 第3版」（一般社団法人 日本旅行業協会等）を参照する。
- (4) 出演者の中から感染者が出た団体は出場できない。
- (5) 会場に入る前・出る前に手指消毒を行う。またそれ以外にもこまめな手指消毒又は手洗いを行う。
- (6) 出演者は演奏時以外はマスクを着用する。ただし、打楽器奏者は演奏時もマスクを着用する。補助員・顧問（指導者）・引率教員は常時マスクを着用する。
- (7) 会場における「密」を避ける。
- (8) 客席では飲食をしない。水分補給はロビーで行い、個人単位で準備し、共用しない。
- (9) 管楽器の結露水はウォーミングアップ時（グリーンホール内）やステージ上及び楽器の準備・片付け時、床に直接落とさず布、紙などに吸収させ、ビニール袋等で密閉し、出演者自らが持ち帰る。
- (10) アンサンブルコンテスト実施中に感染が疑われる者（出演者、補助員、顧問（指導者）、引率教員）が出た場合、体調不良者にマスクを着用させ、速やかに救護室へ案内し、隔離する。対応するスタッフは、マスクや手袋を着用のうえ対応し、速やかに責任者（顧問等）などの関係者に連絡し通院を促す。また、発熱などの症状を伴っている場合、出演団体はその時点で、全員帰宅させる。必要に応じて、新型コロナウイルス健康相談センターに連絡し、指示を受ける。
- (11) アンサンブルコンテスト終了後2週間以内に出演者および補助員、顧問（指導者）、引率教員から感染者が出た場合は速やかに四国吹奏楽連盟事務局（087-831-7251 香川県立高松高等学校 山田 英司）まで連絡する。

3. その他

【新型コロナウイルス健康相談センター】

【電話番号】088-823-9300

【受付時間】9時から21時（平日・土日祝日）

上記受付時間以外（夜間・緊急）

(1) 高知市在住 : 088-822-0577（高知市保健所）

(2) 高知市以外に在住 : 088-823-1111（高知県庁代表）